

小さい者の一人が減びることは天にいますあなたがたの父のみ心ではない。



社会福祉法人

小羊学園

〒433-8105

静岡県浜松市北区三方原町 2709-12

電話：053-414-1833 FAX：053-438-7707

E-mail kohitsuji@imix.or.jp

H.P http://www.kohitsuji.or.jp/

発行人：稲松 義人

印刷所：SRS株式会社

定 価：一部30円

2013年6月20日

第 361・362 合併号

看護師の立場から考える

—これから

つばき静岡 療育部長 鈴木 良成

支援センターわかぎ全面改築の工事が始まり、住み慣れた家が解体された光景を見て、少し寂しさを感じています。利用者は、どのような思いで見ているのでしょうか。私が小羊学園に就職してから、おおよそ20年(現聖隷おおぞら療育センター)、小羊学園児童寮、青年寮が老朽化に伴い、新しい建物に変わっていきました。それ程長い時間を過ごして来たわけではない私でも、思い出が多々あることを考えると、長年利用されている方にとっては、不安と期待を感じながら仮設生活を過ごしていることと思います。安全で居心地の良い暮らしになったら、利用者の皆さんと思えば話した

いものです。
小羊学園が創設し、あと数年で50周年を迎えようとしています。年齢を感じさせないくらい元気な方もいますが、法人の中では高齢化と加齢に伴う機能低下の方への支援について課題になっています。三方原スクエア成人部、支援センターわかぎでは看護師を複数名配置することで看護力の強化を図っています。が、対応が十分とは言えない現状です。障害があっても生きていく為の感性は、とても高く強いものを持っていると感じ

ますが、近年生活習慣病や慢性疾患の悪化などで、治療の為の受診が増加しています。なされるままに医療を受ける方、または、医療を受け入れられない方もいます。不平、不満を訴えることが少ない方にとっては、治療に対するストレスも多く感じていると思います。今まで生活してきた中で大きな変化として、特に身体機能の低下による動きの変化、摂食機能の低下による食べにくさ、飲み込みにくさ、むせることなどの障害が見られてきています。その為、生活環境の整備や介護中心の支援が必要になってきている。生活を支える為のニーズも多様化し、より専門職として求められることが、多くなっています。そのようなことから、障害者支援施設として今後支援体制をどのように考えていくのか、利用者の健康管理、医療的ケアについてどのように役割を果たすのか、利用者が望んでいるこれからの家族の思いを含め、どのように最善の選択をしていくのかを考えていく必要があります。今年度からは、法人内の看護部でも現状の課題を整理し、これからの展開について検討していくことを考えています。

つばき静岡が、開設して7年が経過し、重症児者への支援においては地域の中での役割が明確化し、より求められてくることが多くなっています。特に在宅支援については、重症児者が地域で安心して暮らしていく為の、整備や体制

が不十分であり、障害者総合支援法の影響に対して不安を感じていることも現状としてあります。支援を求めている方の声を聞くこと、目を向けること、その中で私たちができることを考えています。関係機関や関係事業所との連携は、今まで以上に重要になってくるので協力体制を確立し、新たな展開に向けて、積極的に取り組んで行きたいと思っています。また、重症、心身障害児者の重度化に伴い、生活を支える医療のニーズも増大しています。多様化するニーズに対して、利用者の意思を尊重し、療育スタッフの専門性とチーム力を発揮していくことが重要です。児者一貫した支援を通じ、利用者が築き上げていく豊かな人生のサポートをしていきたいと思えます。また、生活を支える医療の魅力と今のニーズに合った思いを次世代に伝えながら、引き継いでいくことも必要です。

現在、日本重症心身障害福祉協会では、重症心身障害児者及びその家族に対して、専門性・個性性の高い看護・療育実践を行う能力、療育スタッフの教育的支援ができる能力を育成する目的で、認定重症心身障害看護士の資格を習得する教育機関が発足しています。

認定制度が広がり、重症心身障害看護の魅力がアピールしながら、障害児者支援の職員確保にも努めて行きたいと思えます。

**社会福祉法人小羊学園
2012(平成24)年度事業報告
理事長 稲松 義人**

2012年度も社会福祉法人小羊学園が設置運営する施設・事業所では、職員一人ひとりが熱意と工夫をもってそれぞれの役割を担い、利用者とご家族のご理解とご協力と周囲から関わってくださる多くの人たちの友情と援助に支えられて、事業を進めることができました。心からの感謝をもって報告いたします。

三方原スクエアでは、障害児関係事業が児童福祉法のもとに実施されるようになり、障害児入所施設に小規模グループケア加算がつくようになりました。また、関係機関と連携し家庭支援を含めた三方原スクエア児童部の実践は、これからの児童入所施設のモデルとなると感じています。成人部では、日中活動の場の確保のために、自立支援基盤整備事業補助金で、支援センターわかぎの隣地に日中活動のための作業棟を設置することができました。一方施設入所支援にあつては、利用者の重症化の傾向が顕著になり、今後の支援体制の強化が緊急の課題となりました。温心寮では、耐震化、老朽化への対応としての改築プロジェクトの二期工事(あゆみホームの新築移転)

を終えることができました。

浜北エリアでは、念願の支援センターわかぎ全面改築のために補助金を受けることができ、年度末に着工できました。また、東日本大震災被災地支援の具体的な取り組みとして、南相馬市の障害者支援事業所に交代で4人の職員を派遣できたことも感謝でした。

静岡地区でも、通所する利用者の受け入れ充実のために基盤整備事業として、わたぐもの増築をしました。一方で、年々高度の医療的ケアの必要な利用者が増加する中で、専任の医師への負担の大きさが浮き彫りになり、今後行政や地域への理解を求めつつ取り組むべき課題と感じています。

浜松市南区エリアでは、市より浜松福祉協働センター(アンサンブル江之島)マネジメント事業を受託し、連携による福祉活動の推進に取り組みしました。中区エリア、在宅支援センターぱびるすの働き、中区と南区にある相談支援事業では、計画相談、障害児相談がはじまり、実績による報酬も得られるようになった半面、制度として未成熟さは今後の課題です。

理念の継承のための具体的な取り組みとして、創立記念日に小羊学園の歩みをふり返るため長谷川力氏の講演会を開催できたことは感謝でした。

法人事業所等の2012年度 利用状況一覧

1. 財産目録

資産・負債の内訳		(単位:円)
I 資産の部		
1 流動資産		912,597,108
現金預金		342,233,054
未収金		482,263,047
貯蔵品		717,484
立替金		57,891,294
前払金		492,229
短期貸付金		29,000,000
流動資産合計		912,597,108
2 固定資産		3,879,092,784
(1)基本財産		3,207,286,866
建物		2,065,927,519
土地		1,141,359,347
基本財産合計		3,207,286,866
(2)その他の固定資産		671,805,918
建物		161,303,285
構築物		31,412,946
車両運搬具		18,875,255
器具および備品		33,494,344
土地		74,332,358
建設仮勘定		40,390,350
施設・設備等積立預金		285,042,000
退職共済預け金		24,932,521
ソフトウェア		327,777
敷金・保証金等預け金		1,125,000
その他の無形固定資産		570,082
その他の固定資産合計		671,805,918
資産合計		4,791,689,892
II 負債の部		
1 流動負債		311,210,165
短期運営資金借入金		29,000,000
未払金		222,183,967
預り金		59,271,039
流動負債合計		311,210,165
2 固定負債		1,269,516,521
長期設備資金借入金		1,244,584,000
退職給与引当金		24,932,521
固定負債合計		1,269,516,521
負債合計		1,580,726,686
差引純資産		3,210,963,206

事業所及び事業単位		利用定員	利用者平均	利用実績
入所部門	三方原スクエア	20	20.5	—
	児童部	—	—	2899時間
	児童部 日中一時支援	—	—	2053日
	児童部 短期入所	10	—	—
	成人部 入所	30	29.8	—
	成人部 日中活動	40	47.3	—
	成人部 日中一時支援	—	—	3259時間
	わかぎ	40	39.1	—
	施設入所支援	40	44.3	—
	成人 短期入所	4	—	1333日
通所部門	わかぎ	—	—	2854時間
	成人 日中一時支援	—	—	—
	つばき静岡	60	62.4	—
	重症心身障害児施設	10	—	3097日
	短期入所	—	—	延827人
	日中一時支援	—	—	—
	わたぐも	20	14.4	—
	(生活介護)	20	19.0	—
	小羊デイケアホーム	20	17.9	—
	(生活介護)	10	10.4	—
マルカート	—	—	延1540人	
ドルチェ	27	24.5	—	
(放課後等デイ)	10	11.4	—	
ドルチェ	20	20.2	—	
(日中一時支援)	—	—	延777人	
オリーブの樹	10	—	9639時間	
(生活介護)	—	—	—	
わかぎ	6	6	—	
(放課後等デイ)	6	6	—	
ばびるす	5	5	—	
(児童発達支援)	6	6	—	
ばびるす	7	7	—	
(放課後等デイ)	—	—	—	
ばびるす	—	—	—	
(日中一時支援)	—	—	—	
地域生活部門	三方原	6	6	—
温心寮 (ケアホーム)	6	6	—	
ひだまり (ケアホーム)	5	5	—	
あゆみホーム (ケアホーム)	6	6	—	
浜北	7	7	—	
ひまわり (ケアホーム)	—	—	—	
カトレア (ケアホーム)	—	—	—	

2. 貸借対照表

(単位:円)

貸借対照表表体。資産の部と負債の部を比較し、純資産の部を算出する。流動資産、固定資産、流動負債、固定負債、純資産の部が主要な構成要素である。

4. 事業活動収支計算書(一般会計)

(単位:円)

事業活動収支計算書(一般会計)表体。収入と支出の項目を詳細に示し、経常収支差額、当期収支差額、前期繰越活動収支差額、当期末繰越活動収支差額を算出する。

3. 資金収支計算書

(単位:円)

資金収支計算書表体。経常活動による収支、施設整備備収支、財務活動収支の項目を詳細に示し、当期資金収支差額合計、前期末支払資金残高、当期末支払資金残高を算出する。

支援センターわかぎ 起工式

支援センターわかぎ改築工事が始まり、既存建物の解体が終了しました。これからの本体工事にあたり、工事の安全と順調な進捗を祈念し、6月1日に起工式を行いました。起工式は、佐伯恒道教師（前浜北教会牧師）司式のもと、キリスト教式で執り行われました。起工式には、常盤工業（株）様・（株）中川猛一級建築士事務所様はじめ関係企業の代表者の方が参列され、法人では理事長、役員、施設職員・利用者代表が出席いたしました。

今後は、基礎工事が始まり、秋には鉄骨が立ち、建物の全貌が見えてきます。利用者の皆さんには現在仮設生活でご苦労をおかけしていますが、来春完成の新しい建物を夢見てご不便をお願いしています。皆さまも応援をお願いします。



起工式

キリスト教社会事業同盟総会 in 浜松

キリスト教社会事業同盟（キリスト教主義で運営する社会福祉事業所の全国組織）の総会・研修会が、6月13日・14日の2日間にわたり、浜松市で行われました。初日は、浜松駅前クラウンパレスホテルを会場に、「痛みを分かち合う心 ―公共福祉とキリスト教―」を主題とし、東京基督教大学教授・稲垣久和先生による「公共福祉とキリスト教」のご講演が行われました。後半は、総会において、2012年度事業報告及び2013年度事業計画の承認が行われ、前年度報告では、東日本大震災被災地支援事業として小羊学園での南相馬市の実践報告をさせて頂きました。翌14日は、会場を三方原に移し、聖隷歴史資料館の見学後、遠州栄光教会において「聖隷創業者【長谷川保・

八重子】の生きざま」と題し、実子であり、聖隷学園理事長の長谷川了氏にご講演頂きました。



キリスト教社会事業同盟

社会福祉法人小羊学園 平成24年度 苦情受付のご報告

法人では各事業所に苦情受付担当者、解決責任者を設置し、サービス利用や施設運営に関わる苦情や要望・相談を受け、必要な措置を講じてきました。平成24年度に皆さまから頂きました苦情・要望件数をご報告します。

施設等に関する苦情	4件	利用者支援等に関する苦情	4件
施設等に関する要望	1件	利用者支援等に関する要望	4件

皆さまから頂きました苦情・要望について、真摯に対応させて頂きましたが、至らぬ点もあつたかと思えます。改めてサービス改善に努めていきます。

編集後記

サッカー日本代表がワールドカップ行きを決めた翌日、記者会見での本田圭佑選手の発言が物議を醸したのは記憶に新しい。先輩選手に対してのダメ出し発言は、本田選手の高い目的意識故の発言だろう。とある本で読んだのだが、「高いモチベーションは質の高い目的意識がなければ生まれぬ」という言葉を思い浮かべた。福祉の世界でもまた然り。利用者の更なる生活や心の豊かさを目標に、日々の関わりに良きモチベーションを持ち続けたい。

カラ梅雨の後半は豪雨になりやすいようです。災害に備え、自然と上手にお付き合いしつつ、お身体もご自愛ください。

小羊学園を支える会

2013年度寄付金報告

5月受付分	211,149円 (22件)
累計	427,149円 (45件)

小羊学園への寄付金振込み先

郵便振替口座	00800-8-107785
口座名義	社会福祉法人小羊学園
ゆうちょ銀行 089店	当座預金0107785
口座名義	社会福祉法人小羊学園

ご希望があれば、郵便振替用紙をお送りいたします。下記へご連絡ください。
小羊学園を支える会事務局（鈴木）
三方原スクエア内 ☎ 053-414-1833